

授業改善等に関する報告書（2024年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2024（前期）英語コミュニケーション学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Effective Communication A	エドワーズ, マイケル・アンソニー	Unfortunately, the students in this course did not attend nor hand in the assigned work.
Writing C	久保田 佳枝	この授業は、英コミを卒業する前に「これだけは理解していて欲しい」という英語構文や語法を集中的に学ぶ内容になっておりましたが、レベル別ではなかったため、学生の皆さんの英語レベルによっては、難しく感じたり、また反対に簡単すぎると思われたり、とあったかと思います。英語は、地道に勉強を継続することで使えるようになります。ですので、簡単すぎると思われた学生さんも今一度教材の総復習をおすすめいたします。また難しいと感じた学生さんは、教材の単語や語法を覚えることを継続していきましょう。
キッズイングリッシュ	三田 薫	子どもに英語を教えるため、「身振り手振り」の工夫や分かりやすく楽しい授業方法を学んでもらえてよかったです。実際に子供たちに教える機会ができると良いですね。
コンシェルジュ論	池田 里香子	アクティブラーニングには積極的に参加がみられた事、又提出するレポートに関しては良く研究されていた事を実感しました。課題は、授業内でのプレゼンテーション力の強化でした。人前で聴き手にわかりやすく説明する力を伸ばしていく事、つまり「伝える」力を養い、人前で話す事に慣れていける様、指導に努めたいと感じました。
ステップアップ英語	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This class had only four students which made it easy to give advice on their many presentations.
英語音声学 A	萩野 敏	履修者数が100名を超えることも多かった授業ですが、今年度は31という履修者数でした。「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が半数以上で、オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が多かったと感じています。総合満足度の平均は4.58と、これまで同様に高めの値でした。後期には「英語音声学B」がありますので、高評価を得た部分についても、もさらに工夫して取り組んでいければと思います。
英米言語文化論 A	萩野 敏	履修者数が100名を超えることも多かった授業ですが、今年度は37という履修者数でした。昨年同様に、「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が6割程度いました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が少なくなかったと感じています。総合満足度の平均は4.78と、とても高い値でした。高評価を得た部分についても、後期の「英米言語文化論B」において、さらに工夫して取り組んでいければと思います。
卒業演習 A	エドワーズ, マイケル・アンソニー	Intros class we studied Japanese American history and the students were attentive. I think they also enjoyed the Japanese American guest speaker who gave his time to come speak.
卒業演習 A	久保田 佳枝	就活で定期的な出席が難しいケースも見られましたが、課題にはきちんと取り組んでいた様子に感心しました。提出されたレジュメ、プレゼン、また全体やグループでのディスカッションでは、皆さんの成長をみる事ができました。後期もこの調子で楽しくコミュニケーションに関する理解を深めていきましょう。
卒業演習 A	大倉 恭輔	課題はかならず仕上げるよう、がんばりましょう。 【追記】 「卒業演習」は自分でやるのが第一です。けれど、行き詰ったときには、とにかく教員に相談してください。
卒業演習 A	藤原 正道	事前に資料を読み、興味ある箇所を調べて、発表するという王道の演習授業（ゼミ）ですが、皆さんよく頑張りました。後期はさらにアップグレードしましょう。

【2024（前期）英語コミュニケーション学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
卒業演習 A	武内 一良	回答者数が少ないため全体的な把握はできないが、授業の分かりやすさや授業への満足度が高いこと、意欲的に参加したとの回答を得ていることから、概ね良好な授業展開ができたのではないかと考えています。後期もこの調子で進めて行ければと思います。
都市文化研究	大倉 恭輔	多様な都市文化について、歴史的背景を含めて学ぶのはハードだったかもしれません。 せめて、小林一三が始めた、「ひとつの電車路線内で『暮らし・消費・娯楽』がパッケージされる」という都市型生活が、現代社会のベースとして生きていることを、ときどき思い出してください。 【追記】 内容が多岐に渡ったために、理解が追いつかない部分があったかもしれません。 専門的になりすぎないよう、いろいろな話題に触れてもらおうと思っていたのですが、話題を絞ることも考えてみます。
比較文化論 A	久保田 佳枝	この授業では各学生の異なる意見を知ることを通して「みんな違ってみんないい」という身近にある文化の違いを知って頂きながら、日本と諸外国の文化の違いをみてきました。講義形式の授業でしたが、講義回数が進むにつれて皆さんからの発言もあり、嬉しく思います。引き続き他の授業も、この調子で取り組んでいきましょう。
旅行実務	太田 実	大変高い評価（概ね平均点を上回る評価）をいただきまして感謝しています。また、自由回答におきましても、観光やツアーコンダクター、ホスピタリティについて身についたとのコメントもいただきました。さらに、「勉強になることが沢山ありました。」とのコメントがありましたが、これは、教員のおかげというよりも、学生自身に学ぼうという意欲があるからこそです。今後の皆さんのご活躍を祈念しています。頑張ってください！